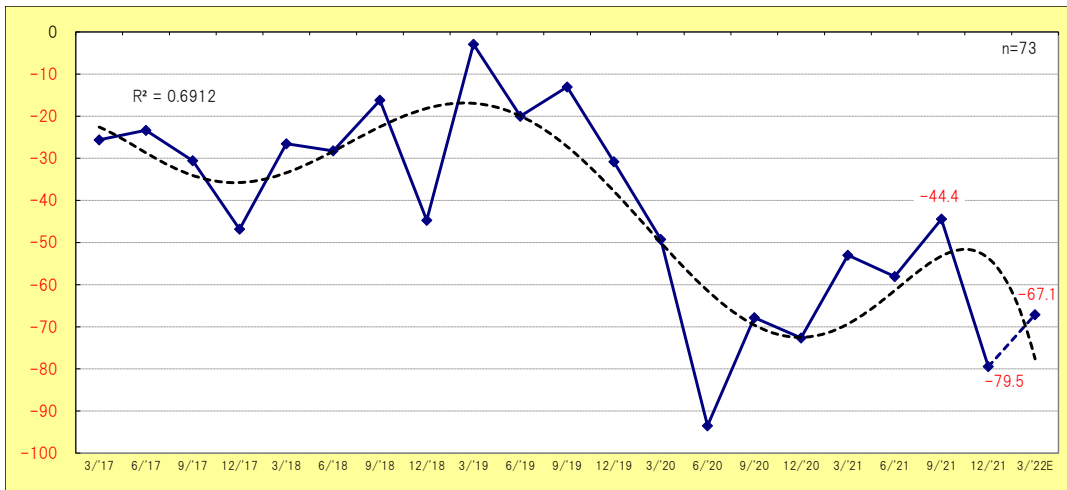


第 87 回 パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書

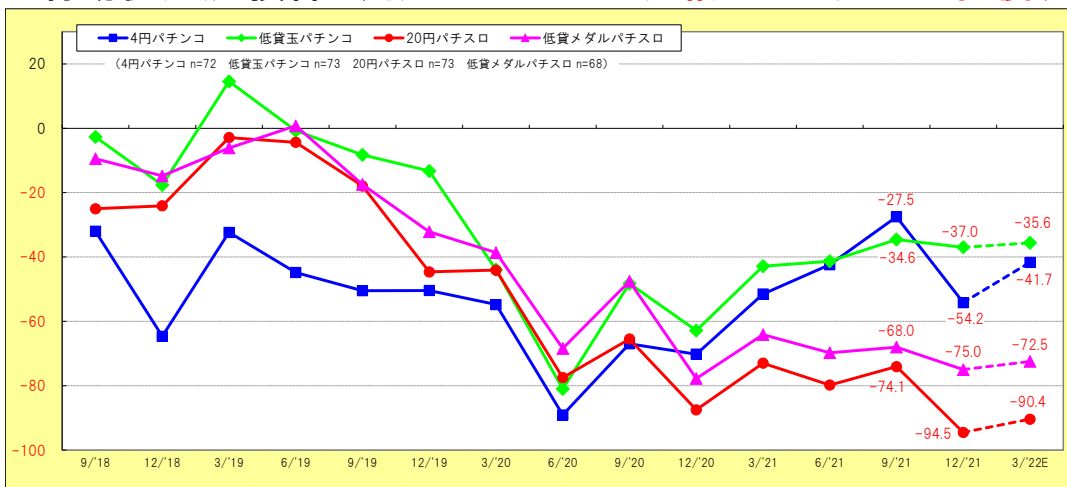
2022 年 1 月

要点

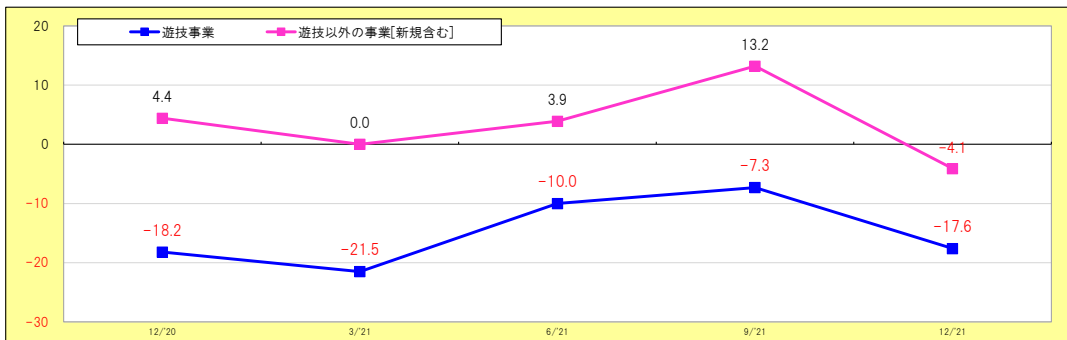
■ 全般的業況の推移: 業況は大幅に悪化、3 カ月後は回復するも厳しい見通し



■ 稼動状況(遊技料金別): 4 円・20 円は大幅に悪化、4 円は回復する見通し



■ 事業規模: 遊技事業・遊技以外の事業のどちらも悪化



◇ 回答状況

54 企業、73 地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)

主要指標数値(DI値)結果

■全般的業況は大幅に悪化、遊技機投資は大幅に回復






















「全般的業況」は▲79.5ポイント(前回比 35.1悪化)へ大幅に落ち込んだ。3カ月後は▲67.1ポイントまで回復するが、厳しい見通しに変化はない。

「稼動状況」はパチンコが▲58.9ポイント(前回比 37.9悪化)、パチスロが▲87.7ポイント(前回比 14.9悪化)まで落ち込んだ。3カ月後はパチンコ▲45.2ポイント、パチスロ▲90.4ポイントとなり、パチスロは特に見通しが厳しい。






「資本投資気運(遊技機)」は 32.1ポイント(前回比 28.7良化)と大幅に回復したが、3カ月後は 11.3ポイントまで落ち込む見通しである。「資本投資気運(その他設備)」は▲20.8ポイント(前回比 0.5悪化)、3カ月後は▲34.0ポイントまで落ち込む見通しである。

「不足感(雇用人員)」は▲19.2ポイント(前回比 14.3悪化)まで落ち込んだ。3カ月後は▲21.9ポイントとなり、概ね横ばいで推移する見通しである。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

項目	業界天気 (下段: DI値)			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況				現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
	-44.4	-79.5	-67.1	
2. 稼動状況 (パチンコ)				現状は雷雨に悪化 見通しも引き続き雷雨
	-21.0	-58.9	-45.2	
3. 稼動状況 (パチスロ)				現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
	-72.8	-87.7	-90.4	
4. 資本投資気運 (遊技機)				現状は晴れに良化 見通しは薄曇に悪化
	3.4	32.1	11.3	
5. 資本投資気運 (その他設備)				現状は引き続き雨 見通しは雷雨に悪化
	-20.3	-20.8	-34.0	
6. 不足感 (営業用設備)				現状は雨に悪化 見通しも引き続き雨
	-13.6	-12.3	-20.5	
7. 不足感 (雇用人員)				現状は雨に悪化 見通しも引き続き雨
	-4.9	-19.2	-21.9	

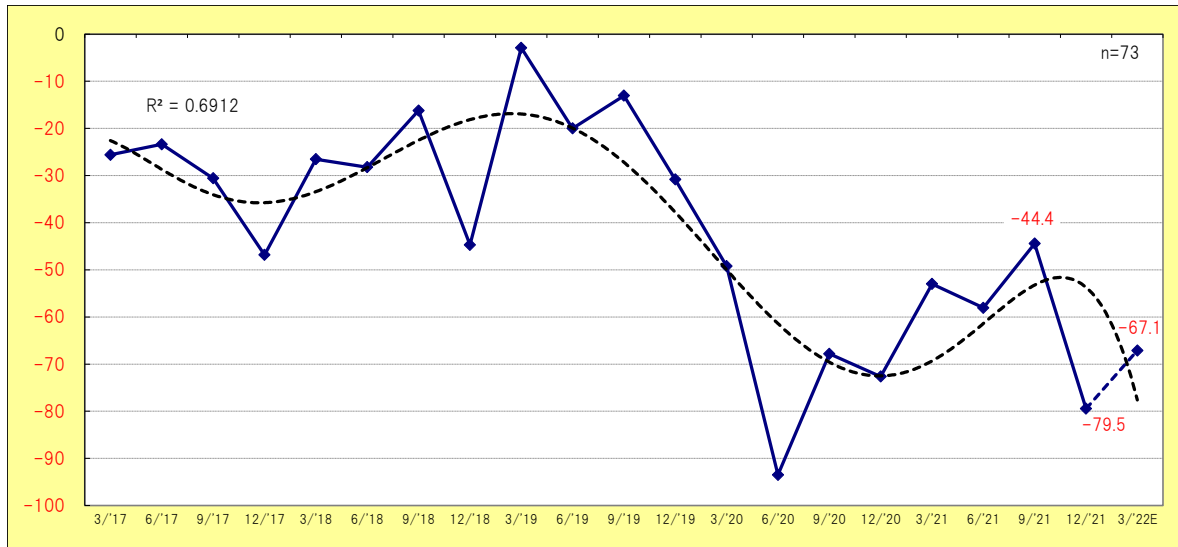
凡例: 天気記号の基準 DI 値

記号					
DI 値	100.0 ~ 30.0	29.9 ~ 10.0	9.9 ~ -9.9	-10.0 ~ -29.9	-30.0 ~ -100.0

全般的業況(事業者全体)

注:2022年3月期(3/'22E)の数値は見通し

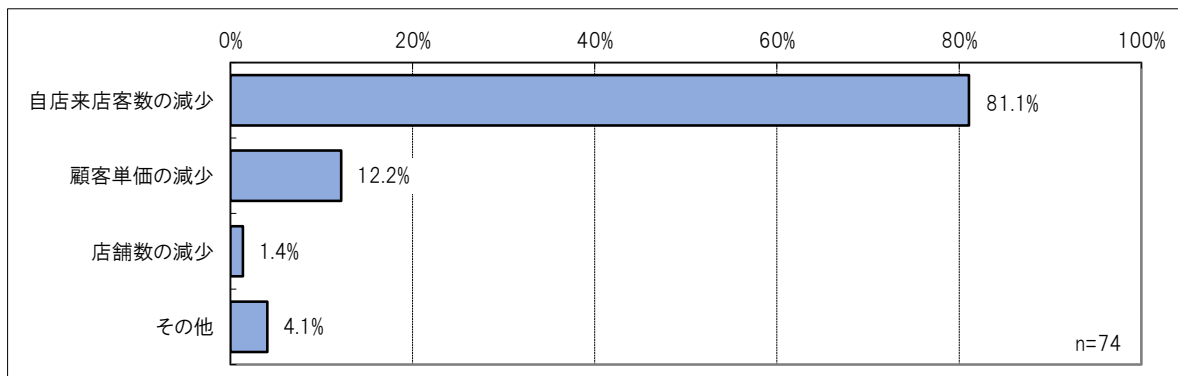
■全般的業況:業況は大幅に悪化、3カ月後は回復するも見通しは厳しい



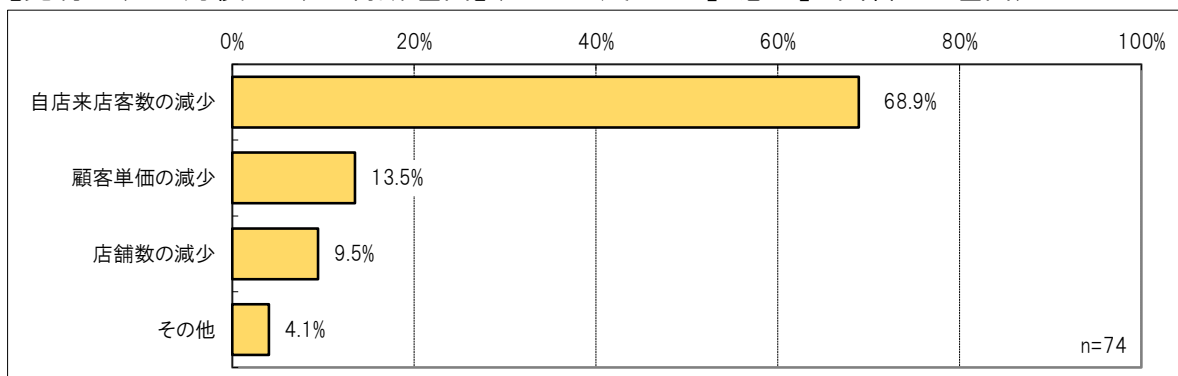
過去 1 カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲79.5 ポイント(前回比 35.1 悪化)へ大幅に悪化した。3 カ月後は▲67.1 ポイントまで回復するが、厳しい見通しに変化はない。

■全般的業況の悪化理由:客数の減少は現況で約 8 割、先行きで約 7 割

【現況(現在を含めたここ 1 カ月)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



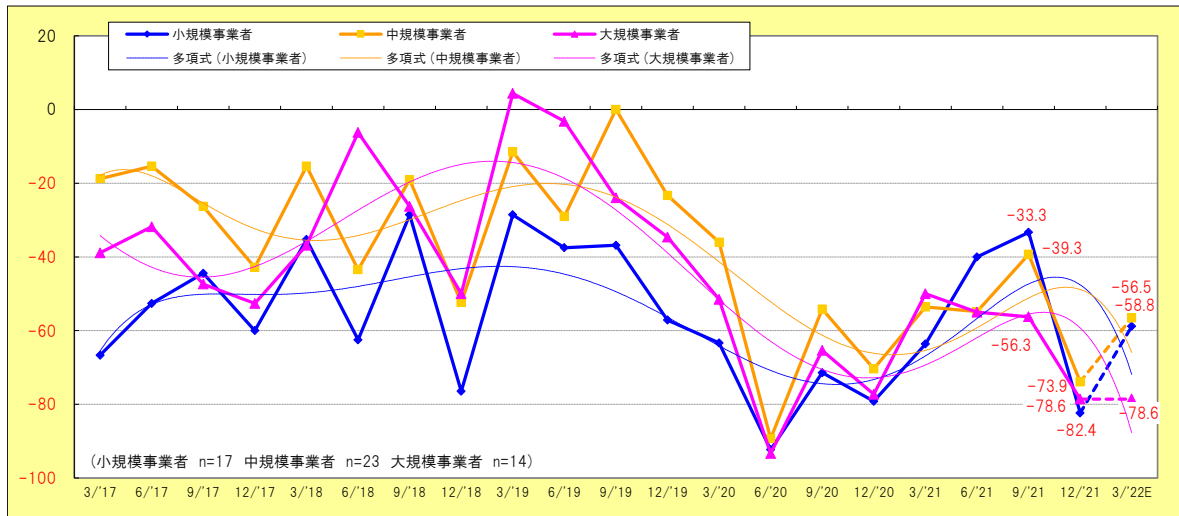
【先行き(3 カ月後まで)の判断理由】(「さほど良くない」「悪い」と回答した理由)



全般的業況(規模別・地域別)

注:2022年3月期(3/'22E)の数値は見通し

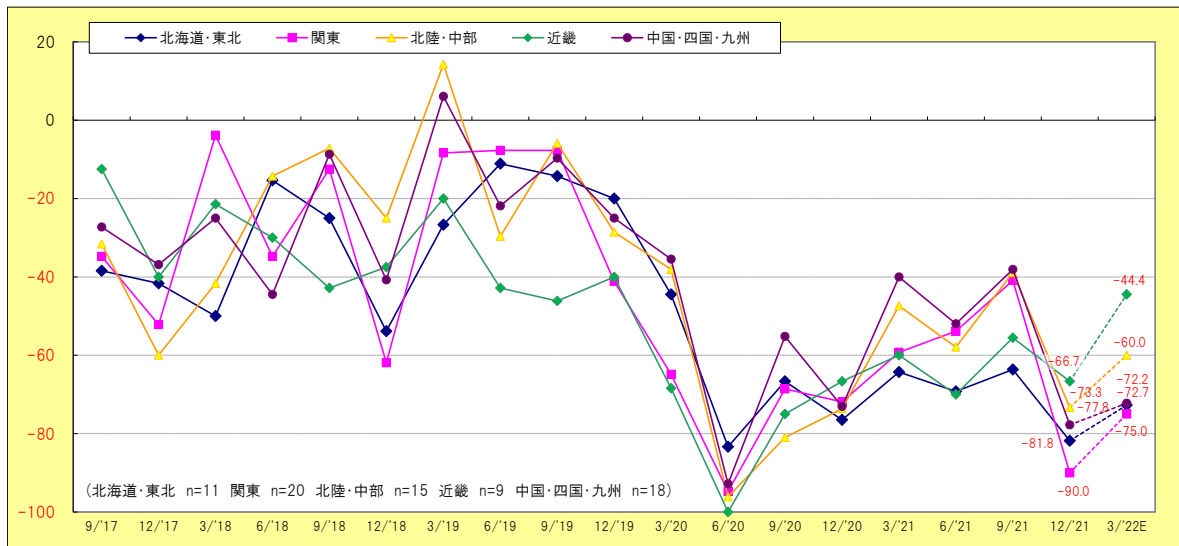
■全般的業況(規模別):全事業規模で悪化、3カ月後は小・中規模は回復の見通し



事業規模別の「全般的業況」では、小規模事業者(1~3店舗)が▲82.4ポイント(前回比49.1悪化)、中規模事業者(4~10店舗)が▲73.9ポイント(前回比34.6悪化)、大規模事業者(11店舗以上)が▲78.6ポイント(前回比22.3悪化)となった。

3カ月後は小規模、中規模事業者で回復が見込まれるが、大規模事業者は現状維持の見通しである。

■全般的業況(地域別):全地域で悪化、3カ月後は全地域で回復の見通し



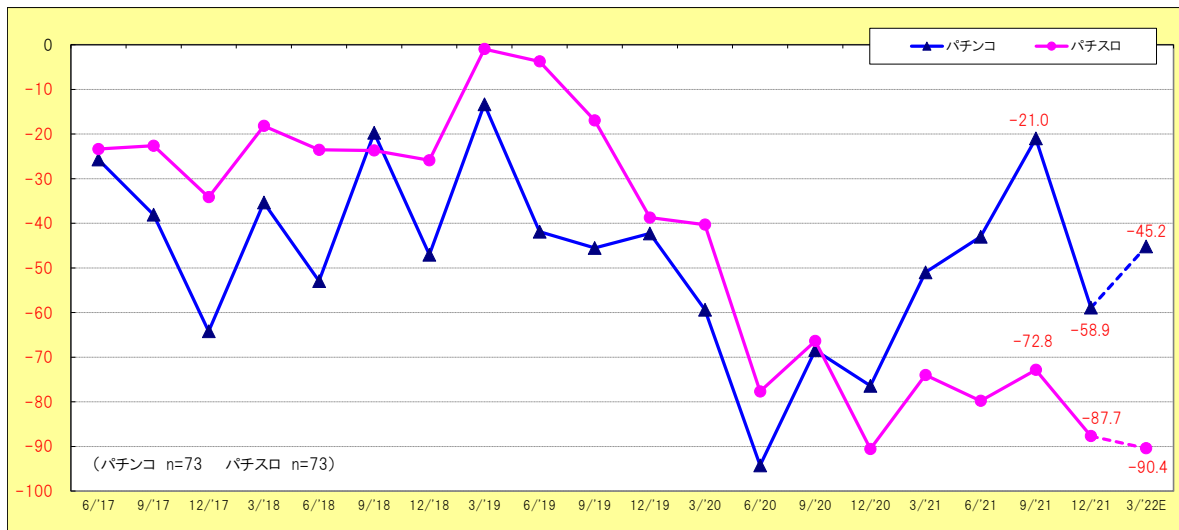
地域別での業況は全地域で悪化した。地域順では、近畿で▲66.7ポイント(前回比11.1悪化)、北陸・中部で▲73.3ポイント(前回比34.4悪化)、中国・四国・九州で▲77.8ポイント(前回比39.7悪化)、北海道・東北で▲81.8ポイント(前回比18.2悪化)、関東で▲90.0ポイント(前回比49.1悪化)となった。

3カ月後の見通しは全地域で回復が見られる。

稼動状況(事業者全体)

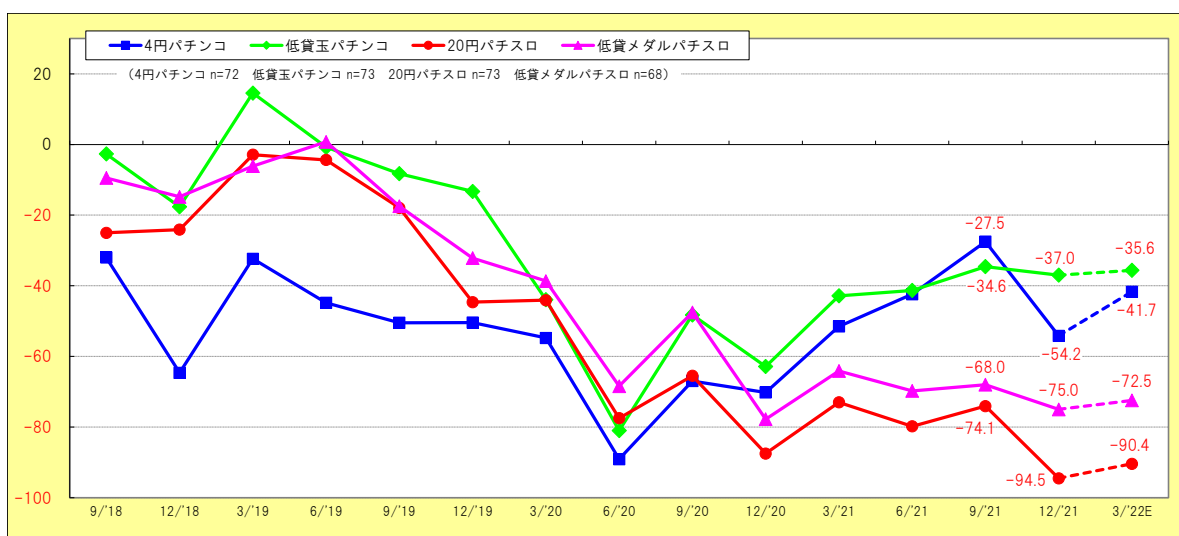
注: 2022年3月期(3/'22E)の数値は見通し

■稼動状況(パチンコ・パチスロ別):パチンコ、パチスロともに悪化



稼動状況について、パチンコは▲58.9ポイント(前回比37.9悪化)まで大幅に悪化、パチスロは▲87.7ポイント(前回比14.9悪化)となった。3カ月後はパチンコ▲45.2ポイント、パチスロ▲90.4ポイントとなり、パチンコは回復する一方、パチスロは低迷が続く見通しである。

■稼動状況(遊技料金別):4円・20円は大幅に悪化、4円は回復の見通し



遊技料金別の稼動状況について、4円と20円パチスロ、低貸メダルパチスロは悪化したが、低貸玉パチンコは現状維持となった。

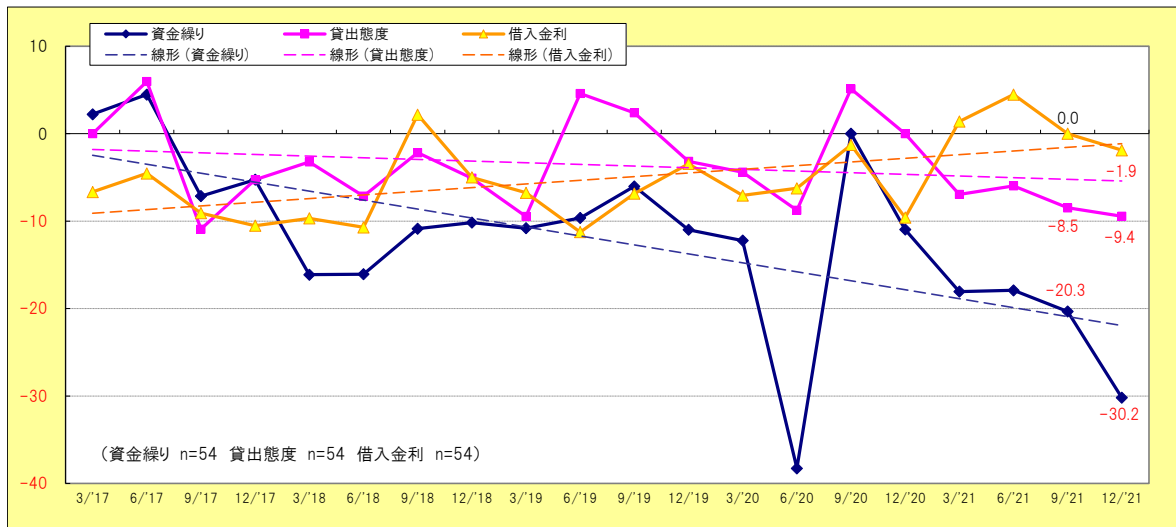
通常貸し遊技料金において、4円パチンコは▲54.2ポイント(前回比26.7悪化)まで大幅に落ち込んだが、3カ月後は▲41.7ポイントまで回復する見通しである。20円パチスロは▲94.5ポイント(前回比20.4悪化)と過去最低水準まで落ち込んだ。3カ月後は▲90.4ポイントとなり、回復の見通しは立っていない。

低貸し遊技料金において、低貸玉パチンコは▲37.0ポイント(前回比2.4悪化)、3カ月後は▲35.6ポイントと現状維持で推移する見通しである。低貸メダルパチスロは▲75.0ポイント(前回比7.0悪化)、3カ月後は▲72.5ポイントとなり、20円パチスロと同様に低水準で推移する見通しである。

経営の現状(事業者全体)

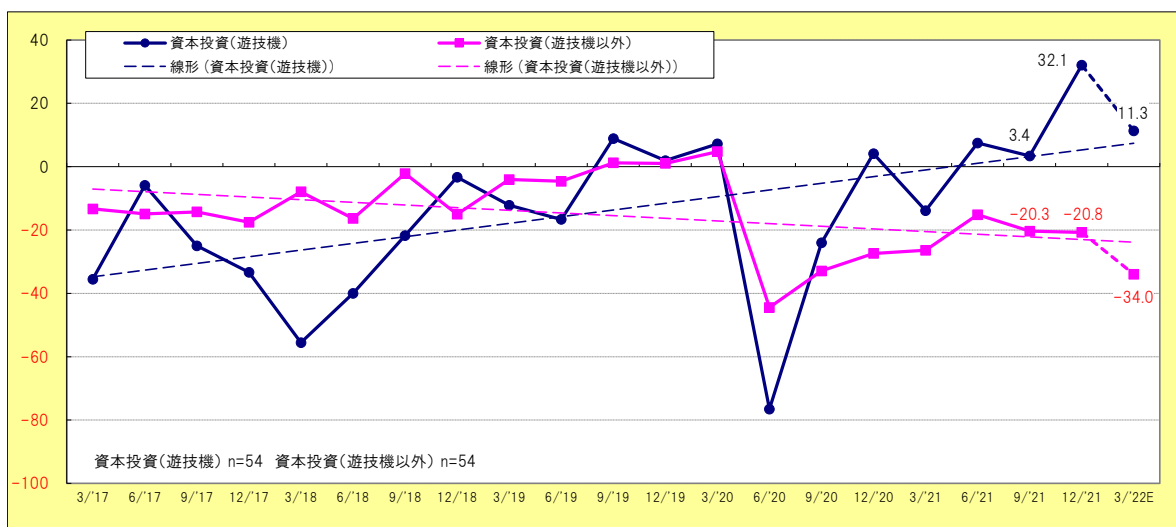
注:2022年3月期(3/'22E)の数値は見通し

■企業金融:資金繰りが悪化、貸出態度と借入金利は概ね現状維持



企業金融(資金繰り、貸出態度、借入金利)は、「資金繰り」▲30.2ポイント(前回比9.9悪化)、「貸出態度」▲9.4ポイント(前回比0.9悪化)、「借入金利」▲1.9ポイント(前回比1.9悪化)となった。

■資本投資気運:遊技機は大幅に回復、3カ月後はプラス圏を維持の見通し



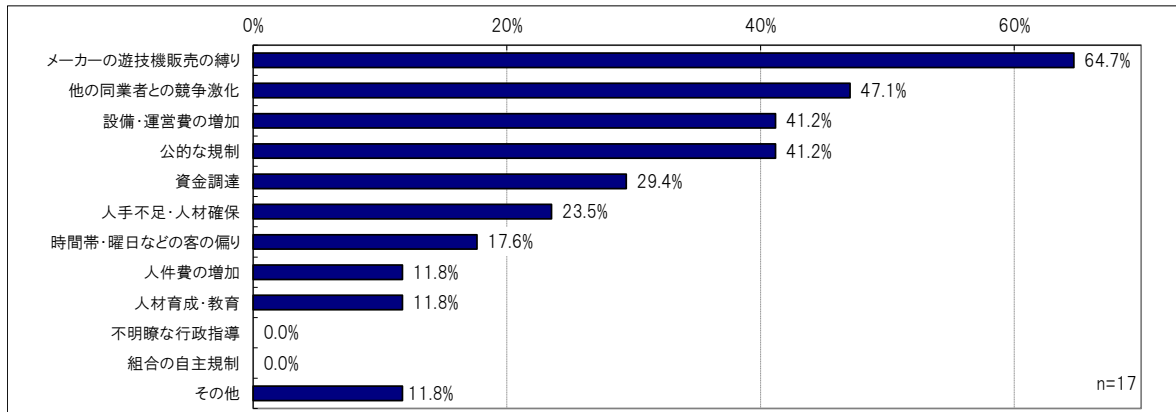
今回の「資本投資気運(遊技機)」は32.1ポイント(前回比28.7良化)と大幅に回復、3カ月後は11.3ポイントまで落ち込むも、プラス圏を維持する見通しである。

一方、「資本投資気運(遊技機以外)」は▲20.8ポイント(前回比0.5悪化)と現状維持となったが、3カ月後は▲34.0ポイントまで悪化する見通しである。

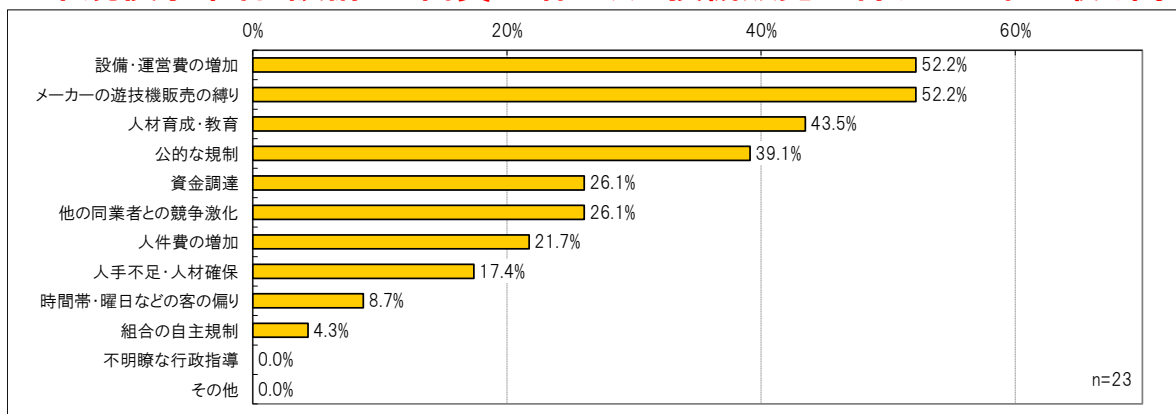
経営上の課題(事業者規模別)

注:複数回答

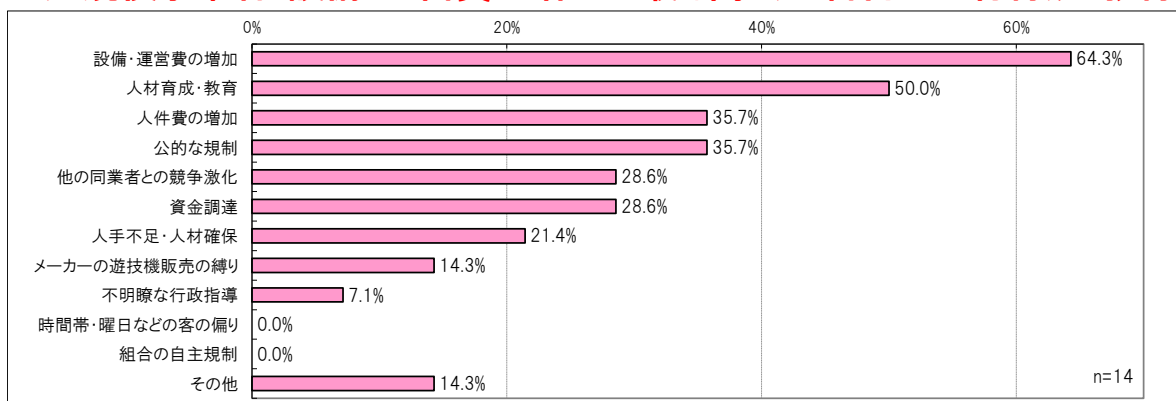
■小規模事業者:遊技機販売の縛りが最も高く、2番目に競争激化



■中規模事業者:設備・運営費の増加、遊技機販売の縛りが同率で最も高い



■大規模事業者:設備・運営費の増加が最も高く、2番目に人材育成・教育



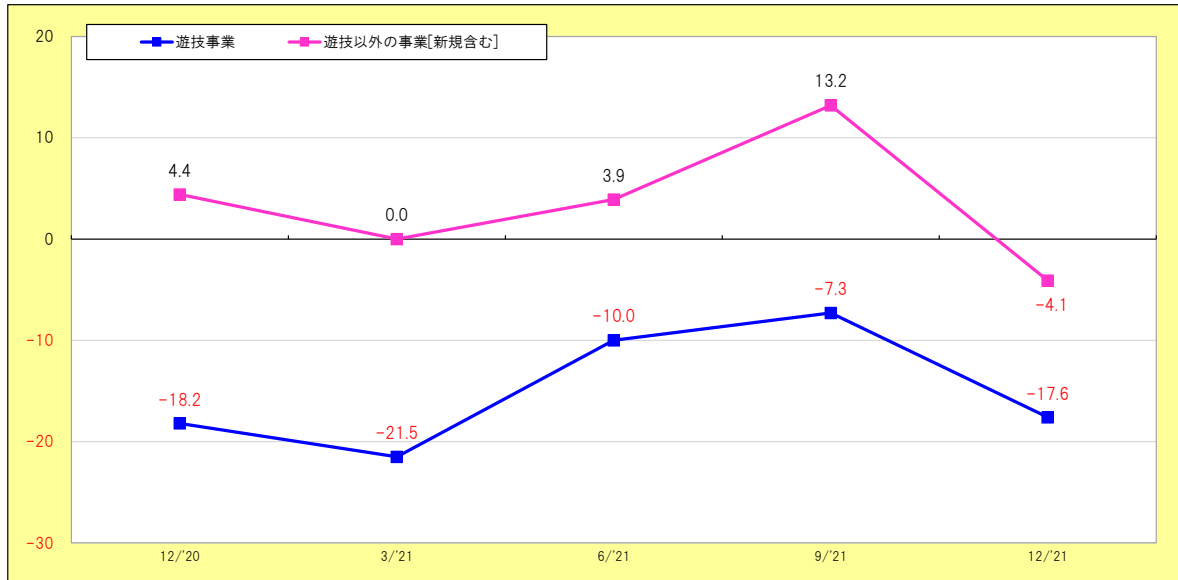
「経営上の課題」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者(1~3 店舗)は「メーカーの遊技機販売の縛り」が64.7%で最も高い。2番目に「他の同業者との競争激化」が高く、3番目に「設備・運営費の増加」と「公的な規制」が同率で高かった。

中規模事業者(4~10 店舗)は「設備・運営費の増加」と「メーカーの遊技機販売の縛り」が同率で最も高く、それぞれ52.2%となった。3番目に「人材育成・教育」が高かった。

大規模事業者(11 店舗以上)は「設備・運営費の増加」が64.3%と最も高い。2番目に「人材育成・教育」が高く、3番目に「人件費の増加」と「公的な規制」が同率で高かった。

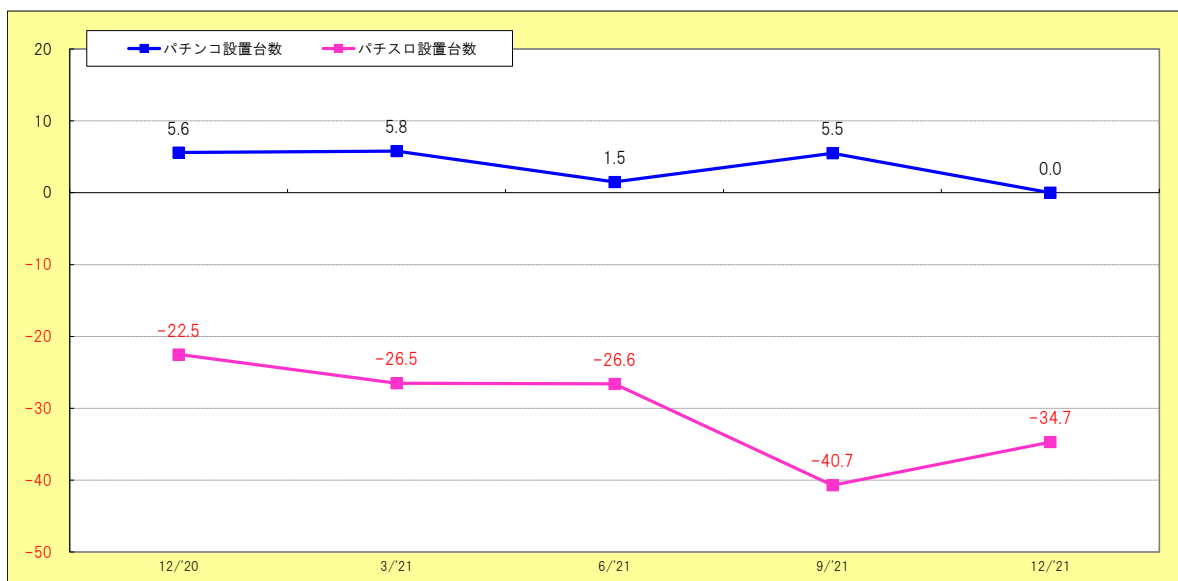
今後 3 カ月間の営業施策(事業者全体)①

■事業規模:遊技事業・遊技以外の事業のどちらも縮小の見通し



事業規模について増減差(「拡大」-「縮小」)で見ると、「遊技事業」は▲17.6ポイント(前回比 10.3 悪化)、「遊技以外の事業」は▲4.1ポイント(前回比 17.3 悪化)となり、どちらも縮小する見通しである。

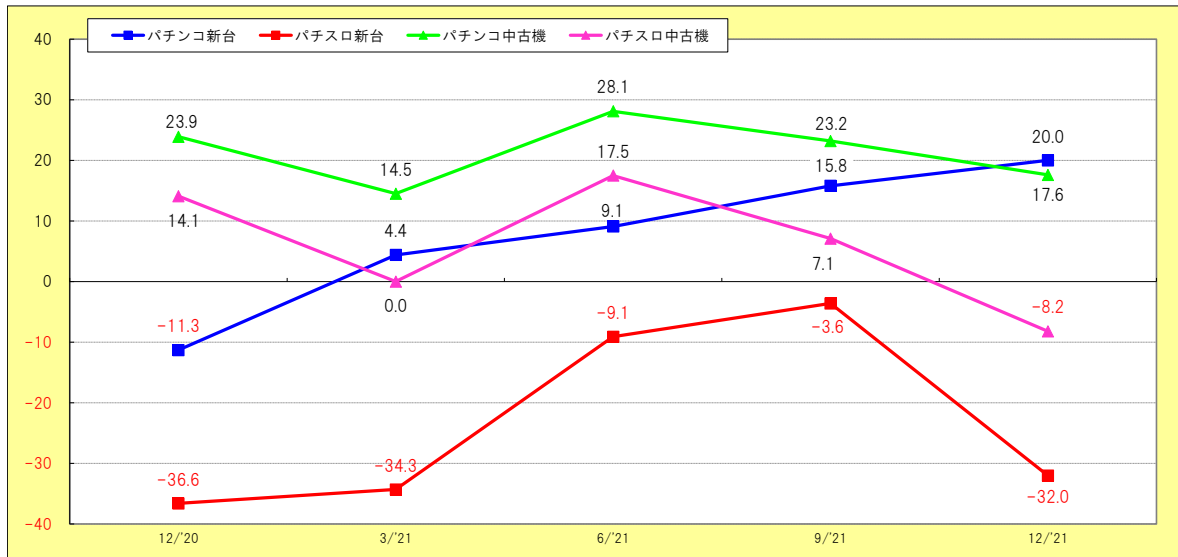
■設置台数:パチスロは回復するも、減台の意向が継続



設置台数について増減差(「増台」-「減台」)で見ると、「パチンコ設置台数」は±0ポイント(前回比 5.5 悪化)となった。一方、「パチスロ設置台数」は▲34.7ポイント(前回比 6.0 良化)となったが、パチスロの設置台数は減台の意向が続いている。

今後3カ月間の営業施策(事業者全体)②

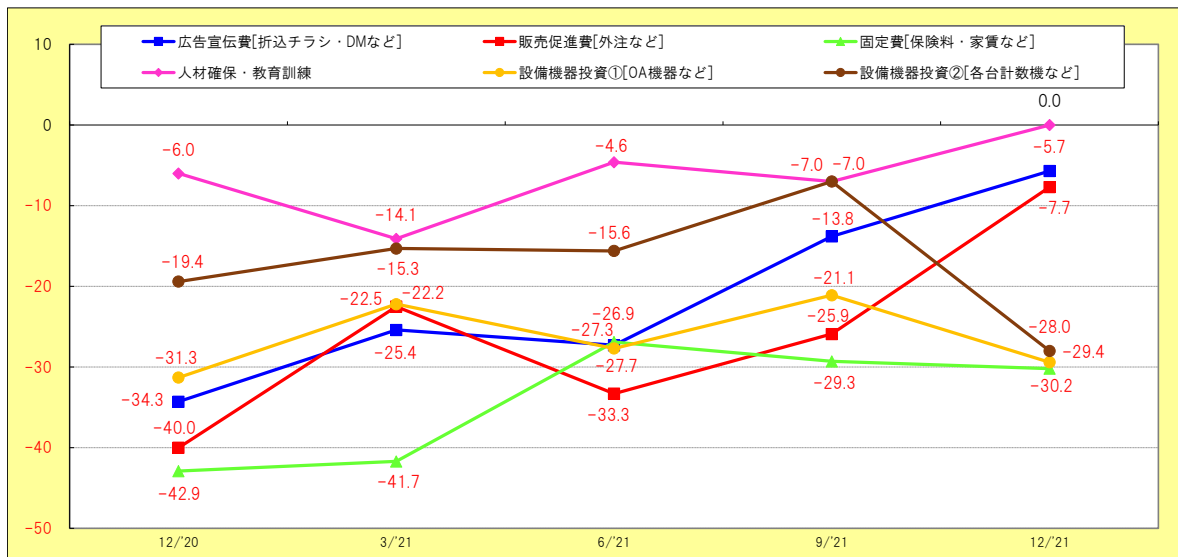
■遊技機購入費:パチンコ新台は回復傾向、パチスロ新台は大幅に悪化の見通し



遊技機購入費について増減差(「増やす」-「減らす」)で見ると、「パチンコ新台」は20.0ポイント(前回比4.2良化)、「パチスロ新台」は▲32.0ポイント(前回比28.4悪化)となった。

「パチンコ中古機」は17.6ポイント(前回比5.6悪化)、「パチスロ中古機」は▲8.2ポイント(前回比15.3悪化)となった。

■販売管理費:人材確保・教育訓練、広告宣伝費、販売促進費は増やす見通し



販売管理費について増減差(「増やす」-「減らす」)でそれぞれの割合を見ていくと、「広告宣伝費」は▲5.7ポイント(前回比8.1良化)、「販売促進費」は▲7.7ポイント(前回比18.2良化)、「固定費」は▲30.2ポイント(前回比0.9悪化)、「人材確保・教育訓練」は±0ポイント(前回比7.0良化)、「設備機器投資①」は▲29.4ポイント(前回比8.3悪化)、「設備機器投資②」は▲28.0ポイント(前回比21.0悪化)となった。

人材確保・教育訓練、広告宣伝費、販売促進費は増やす見通しである。

コメント(自由回答)抜粋①

■新型コロナに対する現状と不安

- ◆コロナ禍でお客様の行動様式が変化し、パチンコ、パチスロで遊ばなくなることがとても心配。事実、コロナが終息に向かっても、お客様の戻りが遅い。(関東・中規模事業者)
- ◆緊急事態宣言が明け、ワクチン接種も進み、最近では感染者数も低位安定しているにもかかわらず、コロナ禍で減った遊技客の戻りが、想定を大きく下回っている。これは「パチンコをしないことに対する慣れ」であり、いわゆる「ニューノーマル」の一端なのではないか。業界挙げて需要を喚起するキャンペーンが張れない我々は、無抵抗のまま衰退していくことになる。(関東・大規模事業者)
- ◆新型コロナの感染拡大は落ち着いているものの、コロナ禍で生活様式や労働環境が一変した結果、元々右肩で下がっている業界に打撃が直撃した感じだ。テレワークが浸透したことで、夕方以降のサラリーマンで成り立っていた駅前店は非常に厳しい。パチスロの規制緩和が追い風になったところで、客数の増加につながるのか不安がある。(関東・小規模事業者)
- ◆新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いてホッとしたのもつかの間、オミクロン株が感染拡大するかどうかも含めて不安です。(中部・小規模事業者)
- ◆ワクチン接種により新型コロナに対する不安は軽減されると思われるが、年配層の客足が戻るか特に不安がある。(近畿・大規模事業者)

■旧基準機撤去への懸念

- ◆1月末に旧基準機撤去が迫る中、新基準パチスロ機の内容の悪さが際立ってきている。どの程度減台するかが悩ましいところである。(中国・中規模事業者)
- ◆1月までは旧基準機撤去を進めるため、入替費用が多くかかるが、それに対するリターンはあまり期待できないだろう。特にパチスロの先行きはかなり不安で、パチンコの負担が大きい。このような状況でもメーカーの遊技機販売の縛りは変わらず、大手パチンコ店のみを相手にしているように感じる。(関東・小規模事業者)
- ◆1月末の旧基準機撤去がいよいよ迫って来ている。当社は早い段階から撤去を進めていたが、パチスロは入替できる遊技機がなくて困っている。中古機の再設置で凌ぐことになるが、撤去期限までに内規変更の機種をリリースしてほしかった。コロナ禍が長引いたため、資金力のある大手との差は開くばかりとなっている。今年1年は引き続き我慢の営業が続くと思う。(関東・大規模事業者)
- ◆遊技機がほしくとも買えない中小のパチンコ店が多くある。1月末をどう乗り切るのかと他社と話したことがあるが、「ベニヤを貼って時を待つ。貼り方にも工夫がいるけど」とため息まじりだったが、当方も同じだ。台数がまだ多くあり、1列ベニヤも覚悟しなければならない。(近畿・中規模事業者)
- ◆1月末での大量廃棄台の処理の行方が気にかかる。不法投棄などで社会問題になれば、アゲインストがより一層強まるはず。(中国・小規模事業者)
- ◆遊技機性能の低下により売上減少が続いている。特に6号機の性能が悪く、値段も高い。(北陸・小規模事業者)
- ◆5号機が撤去されることで、売上、粗利の減少が心配。(東北・小規模事業者)
- ◆旧基準機と混在する中途半端な時代が終わり、良い意味で前進していくのではないかと期待したい。(中部・中規模事業者)

コメント(自由回答)抜粋②

■今後について

- ◆遊技機の高騰、売上・粗利の減少の中、中小の店舗で生き残れることができるのは、どのくらいだろうか。(関東・小規模事業者)
- ◆先行きは不安でしかない。(関東・小規模事業者)
- ◆半導体不足によりサンドなど設備機器の納期が不透明という回答がメーカーからあった。パチンコ業界だけの問題ではないので、いつ解消へ向かうのか分からない状況がもどかしい。(中国・大規模事業者)
- ◆まだまだ業績の回復が厳しい中、年末年始の営業は悩ましい状況である。多くの新台、話題機が販売される時期でもあり、投資と回収のバランスは競合他社との関係性も加味して判断していくことになる。(近畿・大規模事業者)
- ◆パチンコは出玉性能が上がっているので、期待できると思う。パチスロは内規が変わるまでは期待が薄い。特に新台が高すぎる。メーカー直営店が閉店している現状をメーカー自身が考えるべき。(中部・小規模事業者)
- ◆この先の3カ月は遊技機が大きく入れ替わるタイミングというだけのこと。それによる影響をどのように想定しているかが重要なので日々情報をアップデートしていきたい。(中部・大規模事業者)
- ◆遊技機の性能(売上、粗利等含む)が半減する6号機時代を迎え、パチスロ氷河期が到来するが、メーカーはどう捉えているのか分からない。このままだとパチスロ専門店は成り立たない。市場の縮小に歯止めがかからず、需給バランスが崩れるといったパチンコ産業の未曾有の危機に行政はどう対処するのか、出口戦略を示してもらいたい。(関東・中規模事業者)
- ◆6号機主体のパチスロ営業が厳しい。差枚数基準となる有利区間の扱いの変更を盛り込んだパチスロ機の投入に期待したい。(関東・小規模事業者)
- ◆今年はパチスロの規制が緩和された遊技機が導入されて、好転することを期待する。(東北・中規模事業者)

調査結果概要データ(DI 値)

■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-33.3	-82.4	-58.8	-39.3	-73.9	-56.5	-56.3	-78.6	-78.6	-44.4	-79.5	-67.1
稼動状況(パチンコ)	-40.0	-70.6	-52.9	-7.1	-30.4	-13.0	-31.3	-64.3	-50.0	-21.0	-58.9	-45.2
稼動状況(パチスロ)	-33.3	-82.4	-88.2	-82.1	-78.3	-82.6	-81.3	-100.0	-100.0	-72.8	-87.7	-90.4
資本投資気運(遊技機)	-6.7	35.3	17.6	0.0	21.7	8.7	18.8	42.9	7.1	3.4	32.1	11.3
資本投資気運(その他設備)	-26.7	-17.6	-41.2	-14.3	-13.0	-21.7	-25.0	-35.7	-42.9	-20.3	-20.8	-34.0
不足感(営業用設備)	0.0	-5.9	-29.4	-17.9	-4.3	-13.0	-18.8	-35.7	-35.7	-13.6	-12.3	-20.5
不足感(雇用人員)	-33.3	-35.3	-41.2	-25.0	-34.8	-43.5	-12.5	-42.9	-28.6	-4.9	-19.2	-21.9

■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-63.6	-81.8	-72.7	-40.9	-90.0	-75.0	-38.9	-73.3	-60.0
稼動状況(パチンコ)	-27.3	-72.7	-72.7	-22.7	-70.0	-50.0	-22.2	-60.0	-46.7
稼動状況(パチスロ)	-81.8	-100.0	-100.0	-63.6	-90.0	-90.0	-77.8	-93.3	-93.3
不足感(営業用設備)	9.1	-27.3	-36.4	-13.6	-30.0	-30.0	-5.6	6.7	-20.0
不足感(雇用人員)	0.0	-9.1	-18.2	-18.2	-30.0	-15.0	5.6	0.0	-20.0
項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-55.6	-66.7	-44.4	-38.1	-77.8	-72.2	-44.4	-79.5	-67.1
稼動状況(パチンコ)	-44.4	-66.7	-33.3	-4.8	-33.3	-27.8	-21.0	-58.9	-45.2
稼動状況(パチスロ)	-77.8	-66.7	-66.7	-71.4	-83.3	-94.4	-72.8	-87.7	-90.4
不足感(営業用設備)	-33.3	-11.1	-22.2	-23.8	0.0	0.0	-13.6	-12.3	-20.5
不足感(雇用人員)	11.1	-44.4	-44.4	-9.5	-16.7	-22.2	-4.9	-19.2	-21.9

■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-12.5	-20.0	-58.8	-25.8	-28.6	-13.0	-10.5	-6.3	-21.4	-17.9	-20.3	-30.2
貸出態度	18.8	-6.7	-11.8	-25.8	-17.9	-13.0	0.0	6.3	0.0	-6.0	-8.5	-9.4
借入金利	6.3	0.0	11.8	0.0	3.6	-8.7	10.5	-6.3	-7.1	4.5	0.0	-1.9

* 全般的業況 n=73、稼動状況(パチンコ)n=73、稼動状況(パチスロ)n=73、資本投資気運(遊技機)n=54、資本投資気運(その他設備)n=54、

不足感(営業用設備)n=73、不足感(雇用人員)n=73、資金繰り n=54、貸出態度 n=54、借入金利 n=54

* 小規模事業者=3 店舗以下、中規模事業者=4~10 店舗、大規模事業者=11 店舗以上

■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、2000年6月より四半期毎に実施しているアンケート調査である。本調査は2020年9月より(株)シーズ/シーズリサーチが企画・実施しており、(株)エンタテインメントビジネス総合研究所から引き継いだものである。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI値は+100から-100の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、MIRAIぱちんこ産業連盟、余暇環境整備推進協議会の3団体会員ならびにAclub(エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス)会員など、全国の有カパチンコ店経営企業

◇実施時期：

2021年12月9日～12月27日

◇調査方法：

調査票をFAXおよびWEBアンケートにて送付・回収

<https://sees-research.com>

◇回答状況：

54企業、73地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)



調査元 〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-1 晴花ビル2F
Tel:03-6806-0548 Fax:03-6806-0563 URL:<https://sees-research.com>



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

調査協力 〒110-0016 東京都台東区台東1-14-11 藤野ビル2階
Tel:03-5289-4751 Fax:03-5289-4752 URL:<https://www.eb-i.jp/>

本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、データ化することを禁じます。

©2022 SEES RESEARCH